平成27年　第2回　議会定例会

平成27年12月7日

議会定例会の開会にあたりまして、一言ごあいさつ申しあげます。

本日、ここに　平成27年　第2回　大刀洗町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には、師走に入り公私ともにご多用中にもかかわりませず、御出席を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年も残すところ、あと僅かとなりました。

この一年を振り返ってみますと、今年は各地で自然災害の多発した年でありました。

５月には鹿児島県の口永良部（くちのえらぶ）島や桜島で爆発的な噴火が発生し、住民が一時避難する事態になったほか、箱根でも火山活動が活発化しました。９月には、台風１８号による大雨で北関東、東北地方が広範囲にわたり甚大な被害を受けました。幸いにして当町では大きな災害は無かったものの、日頃より住民の安全を第一に考えて、行動する意識を持つことが重要と改めて考えさせられました。

また、１０月には、ＴＰＰ環太平洋経済連携協定で１２カ国による大筋合意がなされました。協定が発効すれば、世界最大の自由貿易圏が形

成され、わが国の経済の活性化につながることが期待されています。一方で、農業など、本町の産業に与える影響は未知数であり、先月２５日には、政府のＴＰＰ対策の大綱も発表されたようですが、今後の動向に注目してまいりたいと考えております。

今年の重要な事業の一つは、急速に進展する少子・高齢化、人口減少に対応するため、国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、町の将来の人口を展望した「人口ビジョン」と今後５年間の具体的な施策をまとめた独自の「総合戦略」を年内に策定することでした。総合戦略の策定にあたっては、住民・産業・教育・金融機関・マスコミ等からなる審議会、若手職員からなるＷＧ（ワーキンググループ）などで議論を重ね、このほど「大刀洗　よかマチ創生プロジェクト」として、先日全員協議会にてご報告させていただいたところです。

本町はこれまで、子育て・教育環境の充実や定住促進住宅の建設等、若い世代の移住促進に注力してきましたが、今後はそれに加え、転入サポートの充実や、農商工の新たな挑戦を応援する取組み、町の魅力を掘り起こし・磨き・発信する戦略的なシティープロモーション（地域の売込み：知名度やブランド向上、住民の愛着形成）などを進めて参ります。

さて、本年度も８ヶ月が経過し、財政面では歳入の根幹である普通交付税もほぼ昨年と同額で予定どおりの収入になっております。

１０月に着工しました図書館改修事業をはじめ普通建設事業も順調に進捗しており、道路改良事業は１２月末で約８０％の進捗となっています。建設中の定住促進住宅「スカイラーク菊池」も第１回の入居者説明会を開催し町外から１０世帯、町内４世帯の合計１４世帯の入居が決定しております。概ね年度計画すべてについて順調に推移しており、これも議員各位並びに町民の皆様のご理解ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、本議会定例会で審議していただきます主な議案は、教育長の任命について、大刀洗町地域優良賃貸住宅基金条例の制定についてなど条例制定が２件、大刀洗町税条例等の一部を改正する条例の制定、町道の認定、一般会計及び特別会計の補正予算４件、平成２６年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定６件など、いずれも重要な案件を提案しております。

議員各位におかれましては、慎重に御審議いただきまして、最後には、ご承認賜りますようお願い申し上げまして、ご挨拶といたします。